

防災行政無線

放送内容が電話で確認できます。
自動応答電話 ☎ 286-0888



- 携帯・PHSからは
 - ・必ず止まってから通報する
(車の運転中がダメなのはもちろん、徒歩でも途切れの場合があります)

- ・いつ／どこで／何があったか／犯人の人相、着衣、逃走方向、車／被害の状況、被害品／あなたの住所、氏名、電話番号

相談事や照会など急でない用件は警察相談電話(383-9110)または#9110を利用して下さい。

問御船地区防犯協会連合会 御船警察署 ☎ 282-1110

お互いさまの精神で 横断歩道止まつて渡す

「思いやり」キャンペーン

ドライバーと歩行者の「思いやり」の意思表示である「てまえ」運動が行われています。お互いの「思いやり」を表現し合う、「てまえ運動」を実践し、横断歩道上の交通事故を無くしましょう！

■歩行者へ
横断するときは「手を前」に出してドライバーに合図

子どもは、①手を大きく挙げて横断歩道を渡る ②横断旗を使う ③車が止まつてもいきなり走り出さず、ゆっくり渡る

■ドライバーへ

車は横断歩道の「手前」で停止！「手を前」に出して歩行者に合図

問危機管理課 危機管理係 ☎ 286-3210

地域安全ニュース

110番は緊急通報専用

1月10日は110番の日

新
防災・減災トピック
日々からの備えが重要 大地震から24年

防災・減災に関する情報を紹介します

- ・通報場所を正確に伝える(市町村名と目印となる建物などを告げる)
- ・通話終了後もしばらくは電源を切らない(不明な点を尋ねる場合があります)

- 6,434人の尊い命が奪われた阪神・淡路大震災(平成7年1月17日)の発生から24年を迎えます。

- 益城町に甚大な被害をもたらした平成28年熊本地震と同様の内陸直下型地震であり、社会に多大な影響を及ぼしました。

- 震や豪雨災害が発生しており、あらためて「災害は、いつかどこかで必ず起きるもの」ということを痛感させられました。
- このコーナーでは、来月から載し、日頃からの備えに役立てていただくための情報をお届けします。

調理中、特に注意が必要です

着衣着火の事故

調理中にこんろの火が袖口に燃え移るなど、何らかの原因で着ている服に火がつくことを「着衣着火」といい、高齢者では被害が重くなる傾向があります。

ト製の着衣の腹部に着火。危険から身を守るには

・首にスカーフを巻いたまま、ころに火をつけたら、垂れ下がったスカーフに着火。

・コンロの奥に物を置かない。調理の際は、着火しにくい、防炎製品ラベルが付いた着衣を利用する。

交通安全ワントップアドバイス

かしこい消費者